



朝会の話

～ 3つの力を開く ～

令和6年5月13日

校長 井口 修

今日は、「3つの力を開く」というお話です。

1つ目、「最後まで聴く力」を開きますよ。目を閉じてください。すぐ近くの風の音、聴こえますか？ちょっと離れた木が揺れる音、聴こえますか？遠くの方の鳥の声、聞えますか？目を開けてください。今、皆さんは聴こうとしているので最後まで聴く力が開きました。だから、私のこの小さな声も聴こえるのです。

2つ目、「見る力」を開きますよ。黄色、見えますか？緑、見えますか？空色、見えますか？今、皆さんは見ようとしたので見る力が開きました。だから、この小さなグーチョキパーも見えます。

3つ目、「全体を感じる力」を開きますよ。今校庭にいるこどもと大人、約750人が落ち着いた雰囲気になっていること、感じますか？これが「全体を感じる」ということです。「最後まで聴く」「見る」この両方があって、初めて「全体を感じる力」は開きます。

皆さんには、授業中の教室でも、この3つを開いてほしいです。でも、実はとても難しいことです。自分の強い思いがあると、ついつい声が大きくなって他の人の思いは聴けなくなります。聴いている途中で自分の思いが湧いてくると、最後まで聞かずについ話したくなります。それが人間です。大人の私もそうです。皆さんもそうじゃありませんか？

でも、いいクラス、いい学校をつくるためには、それを乗り越えなくてはなりません。元気な人も静かな人も、思いがどんどん湧いてくる人も時々湧く人も、得意な人も苦手意識がある人も、全員が大切にされ、全員が活躍できるのがいいクラス、いい学校です。

ですから、「最後まで聴く」「見る」「全体を感じる」努力をしてください。それには、朝会の最初のように、気が付いた人が、周りにやさしく声を掛けるといいと思います。勇気がいりますが、踏ん張ってください。授業中に誰かが気が付き、周りにやさしく声を掛ける人が増えていったら、きっといいクラス、いい学校になります。

これからも、校長先生をはじめ、いろんな先生が皆さんのクラスを応援に行きます。「最後まで聴く」「見る」「全体を感じる」をがんばる姿、ぜひ見せてくださいね。

※裏面に【教職員の皆様へ】があります。

【教職員の皆様へ】※学年や、それぞれの立場に応じて、補足をお願いします。

GWがおわり、どの学年も、子どもたちの素の姿が出始めています。そこで、

- 子どもたちに「学級づくり」を意識させたい、
- 自分たちのクラスの様子を自分たちで感じてほしい、
- その上で自分たちはどうしたいか、どうすべきか考えてもらいたい、

と思い、今回の話をしました。

発達年齢に応じた、児童発案のクラス、学年、学校づくりですね。

(※低：学級づくり 中：学年づくり 高：学校・地域づくり)

まずは「最後まで聴く」からスタートだと思うのですが、

子どもによって「聴くことが得意」「見ることが得意」があるので、両方入れました。

難しいのは、自分たちのことはなかなか見えづらい、ということです。

俯瞰することは大人にとっても難しいことです。

周囲が「最後まで聞いていないなあ」と感じていても、本人やクラス内では気づきにくいものです。

また、気づいているけれどもどう改善したらよいか見えない、こともあると思います。

子ども個々の特性への配慮も必要なので、一筋縄ではいかないことも出てきます。

だからこそ、

全ての学級を、全ての教職員でつくっていきましょう。

それがチーム八小です。

もちろん、各自がやれる範囲のことを無理しすぎず出し合うことが大切です。

職員室に戻る際、日によってコースを変えたり、ちょっと遠回りをしたりして、様々な教室を、お互いに見合えるといいですね。

そして、「いいな！」と感じたことは、本人にもぜひ伝えてください。

大人も、「いいね！」と言われるとやる気パワーが上昇します。

こどもの心にうるおいを生み出すちょっとした取組「小断」「短いレク」「歌」「絵本の読み聞かせ」「45分を3つに分割」等、各自がやっている個々情報も、学校全体の財産にできるといいですね。